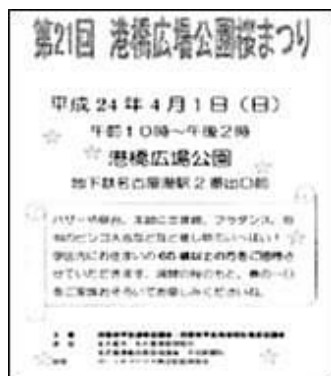


港橋広場公園桜まつり



【西築地学区】

■世帯数：2,335 世帯

■人 □：4,964 人

■面 積：1.114km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 毎年 4 月の第一日曜日を実施日と定め、名古屋港の桜の名所である、港橋広場公園にて、地域住民のふれあいを深めるとともに、町の活性化を目的として「港橋広場公園桜まつり」を開催。参加者数は約 1,000 人。
- ・ 65 歳以上の高齢者と子ども会に所属する小学生を招待し、物品購入券を配布。
- ・ バザーや屋台に加え、太鼓や三味線、フラダンスなどのステージイベント、ビンゴ大会などの実施。
- ・ まつりで出たゴミは分別して処分。

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布、高齢者への招待状

【アピールポイント】

少ない桜ではあるが、充分楽しんでもらえている。イベントに使える公園を活用している。

2 きっかけ、背景

平成 3 年江川線道路が 25 メートルから 50 メートルに拡幅されることに伴い旧運河にかかっていた港橋（昭和 12 年竣工）の欄干が移築されることとなった。同時に桜の木の伐採の可能性が出てきたため、学区主催の「桜を惜しむ会」が開催された。会は大変盛況で、その後桜の存続が決定され、翌年第 2 回港橋桜まつりが行われた。平成 6 年に港橋広場公園が完成し、主催を学区から商店街振興組合に切り替え、規模も拡大したことで学区をあげてのまつりとなった。平成 24

年度で21回目の開催となる。(平成23年に商店街から学区主催に戻したが、祭りの規模はそのままとなっている。)

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員、商店街振興組合
計約120人

(2) 他団体との協力

ポートオブナゴヤ商店街振興組合、名古屋港観光施設協議会、名古屋港管理組合、地域の企業、病院、介護施設、授産施設、みなと文芸協会

(3) 運営協力

商店街の人材育成のため、一時期主催を商店街としたが、現在は学区主催に戻し、学区で人材を育てることにした。

4 実施のスケジュール

H24年1月23日 学区より準備委員会委員委嘱

2月15日 第1回準備委員会(要項、予算案作成、招待者の人数調査・手続き)

3月9日 学区定例会(要項・予算・来賓案の審議)

3月19日 第2回準備委員会(内容の確認 役割分担 諸申請 手続き)

3月31日 前日準備(物品搬入)

4月1日 開催 当日準備(物品搬入 設営)

5 成果と課題

(1) 成果・効果

参加者の増加、住民意識の高まり、交流の深まり、担い手の増加。参加者がまつりを楽しみにしてくれるようになった。

(2) 今後の課題・展望

運営側に高齢者が多くなり、活動の担い手の確保が課題。

(3) メッセージ・アドバイス

多くの人に関われるようにし、知恵をつかい、手作りを心がけることが重要。住民に喜んで参加してもらい、喜んで帰ってもらうことを大切にしている。